



2020. 6. 26

定期預金に係る通知文書の削減にともなう費用の一部を「富士山基金」に寄付

静岡銀行(頭取 柴田 久)では、金融業務を通じた環境保全への取組強化の観点から、定期預金をご利用のお客さまにお送りしている「定期預金利息計算書」および「定期預金満期案内」の送付を一部終了しています。

今般、本取り組みにともなう紙の削減費用の一部を認定 NPO 法人富士山世界遺産国民会議が運営する「富士山基金」に寄付しますので、その概要をご案内します。

1. 寄付について

- (1) 寄付日/7月3日(金)
- (2) 寄付先/富士山基金(認定 NPO 法人富士山世界遺産国民会議)
- (3) 寄付金額/2百万円
- (4) 贈呈式(7月3日 10時~)
 - ・会場/しずぎん本部タワー 19階 第2会議室(静岡市清水区草薙北2-1)
 - ・参加者/認定 NPO 法人富士山世界遺産国民会議 事務局長 大庭 大 様
静岡銀行 執行役員 事務サポート部長 滝澤聡康

2. 定期預金に係る通知文書の削減について

- 静岡銀行グループでは、地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実現に向けた取り組みの一環として、地域の環境保全に係るさまざまな活動に取り組んでいます。
- 本取り組みを通じて、今後も紙文書の発生を抑制し、環境負荷の軽減に努めていきます。

【発送を取りやめた通知文書】

- ・ATMで解約された定期預金利息計算書(2019年12月2日以降の解約分より)
- ・個人(個人事業主を除く)のお客さまの自動継続方式の円貨定期預金の満期案内(2020年3月2日の送付分より)

<ご参考> 静岡銀行グループにおける金融業務を通じた環境保全への取り組みについて

- ・環境保全に取り組む企業の資金調達をサポートする「環境格付私募債『ECOBON(エコボン)』」や、お客さまの環境マネジメントシステム認証取得に関するコンサルティングサービスの提供などに取り組んでいます。
- ・また、通帳を発行しない「Web総合口座」とインターネット支店専用口座「WebWallet」の2商品を「しずぎんECO口座」と総称し、通帳の削減費用の一部を「富士山基金」に寄付しています。

【寄付実績】2018年度下期/1,039,900円

2019年度上期/911,300円

2019年度下期/1,000,650円